

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.2

開催地：球磨村一勝地地区

平成 19 年 5 月 16 日（水）、球磨村一勝地地区において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。

石の交流館「やまなみ」にて開催された同報告会には、約 70 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

いただいたご意見等並びにご意見等への回答については下記のとおりです。

なお、報告会の時に回答した内容が不十分であったところについては補足しています。

参加者数※

村内	68 名
村外	4 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
<p>【球磨川の治水対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプ車が水際まで入っていけるよう消防用坂路を延長してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告会後にご発言いただいた方と一緒に現地を確認させていただきました。今後、水防災事業の中で対応する方向で検討していく考えです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・宅地の嵩上げの整備をしてもらったが、地区の高齢化が進み避難場所が JR 線路上くらいしかない。地区住民が安全、安心して生活できるように、道路や橋も含めて嵩上げ高さを計画よりも 1 m 高くして欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告会後にご発言いただいた方と一緒に現地を確認させていただきましたが、今後どのような対応ができるか検討したいと考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 16 年から宅地の嵩上げ工事をしてもらい有難い。これから着手する箇所についてもできるだけ早く整備をして欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ早期に整備ができるよう、支川管理者である県等とも調整しつつ努力していきたいと考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模なダムができるまでには時間がかかる。災害は待てられない。とにかく早く治水対策を進めて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治水対策が遅れていることにつきましては、大変申し訳なく思っております。一日でも早く対策ができるよう、支川管理者である県等とも調整しつつ努力していきたいと考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和 57 年の洪水で水位が下がり始めたときに市房ダムからの放流により水位があがり被害があった。ダム放流などの情報について一報が欲しい。</li> </ul>	<p>【熊本県回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日は、昭和 57 年の市房ダムの操作については準備しておらず、別の機会で説明したいと答えましたが、左記の回答は以下のとおりです。 ダム放流の情報については、的確に伝えたいと考えており、現在、村まで情報を伝達している。さらに、村から各支所まで伝達されていることは確認しました。今後どのようにしたら、効率的に消防団や住民に伝わるか研究したいと思っております。しばらく時間をいただきたい。 と当日は回答しておりますが、以下のとおり情報を伝えております。 市房ダムの放流に関する通知については、市房ダムから下流の人吉市までサイレン及び広報車による警報や放送を行っております。また、球磨村、芦北町まで防災 F A X にて市房ダム下流沿川の市町村へ情報を提供しています。電話での情報提供として自動応答のシステムを運用しており、ここに電話していただ</li> </ul>

	<p>くと、直近の貯水位・流入量・放流量及び市房ダム上流の時間雨量を音声で聞くことができます。なお、データは10分単位で更新されています。また、携帯端末からも熊本県統合型防災情報システムに市房ダムの洪水調節情報をアップし、本年度からどなたでも閲覧できるようにしています。</p>
<p>・市房ダムの洪水調節効果の説明には、水害になった昭和57年当時の増水と減水の早さ等を実際に見た経験からどうしても納得できない。</p>	<p>【熊本県回答】</p> <p>・当日は、昭和57年の市房ダムの説明については準備しておらず、別の機会の説明したいと答えましたが、左記の回答は以下のとおりです。</p> <p>昭和57年7月の降雨においては、ダムへの流入量が急激に増えたため、流入量の増加に併せて放流量増加させる必要があり、通常の洪水調節操作に比べて放流量の増加は早くなっている。しかし、最大放流量は最大流入量に対して25%少なくなっており、最大流入量がダムに流れ込んできた瞬間のダムからの放流量は約70%少なくなっており、ダム下流に対して洪水被害の軽減を図っております。</p>
<p>【球磨川の環境について】</p> <p>・球磨洞の下に昔の洪水で流れた橋のコンクリート片が落ちたままになっている。景観上問題であるので早急に撤去すべき。</p> <p>・川のそばにある木について景観上たくさん残るように配慮して欲しい。</p> <p>・嵩上げ工事にあたり、河川内の工事をした際に道路を撤去した後大きな石が放置されている。石を元の姿にするように石の配置、並べ方を丁寧にしてほしい。</p>	<p>・報告会后に、球磨村役場と一緒に現地を確認させていただきました。今後、橋梁管理者である球磨村とも連携しつつ、対応について検討させていただきたいと思っております。</p> <p>・良好な景観の維持・形成や自然環境の保全等の観点から、洪水を安全に流す上で問題とならない樹木等については、できる限り保全していきたいと考えています。</p> <p>・報告会后に、ご発言いただいた方と一緒に現地を確認させていただきました。現地でのご意見を踏まえ、昨秋、石を配置しました。</p>
<p>・最近魚の姿が見えない。水質の検査も必要ではないか。</p>	<p>・球磨川では水質調査を毎月実施しており、近年はBODなどの水質指標では、環境基準値以下で比較的良好な水準で推移している状況です。</p> <p>一方で、ご意見にあるように、近年、魚が減少していることから、その原因は水質以外にも様々あるものと思われれます。</p> <p>国土交通省では、関係機関等と連携・調整し、アユなどの魚類の産卵場となる瀬の再生、魚道の改良など、魚類の生息環境の改善に努めていく必要があると考えています。</p>
<p>・2、3年前はハヤがいた。最近外来種が多い。</p>	<p>・ご意見のとおり、球磨川水系では外来生物の生息・生育が確認されています。</p> <p>外来生物は在来生物への影響が懸念されることから、関係機関と連携し、適切な対応を行っていく必要があると考えています。</p>

<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前球磨川の増水による死亡者がでたが、氾濫による死亡者が何名、その他の災害による死亡者が何名か結果が教えて欲しい。</li> </ul>	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の球磨川流域市町村の洪水被害状況については、熊本県が作成した「熊本県災異誌」「熊本県消防防災年報」等に記載されていますが、この数字は球磨川の氾濫による被害だけでなく、支流や他の河川の氾濫も含めた当該市町村全体での被害を合計したものであり、かつ、河川の氾濫だけでなく、土砂災害によるものも含まれているため、球磨川の氾濫による被害状況については把握できていませんでした。</li> <li>このような状況を踏まえ、近年は、洪水後に流域市町村に聞き取り調査を行い、球磨川の氾濫だけに絞った被害状況の把握に努めています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・川の中に工事用道路で土を入れている。どのように撤去するのか、設計はどうなっているのかを教えて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として、工事の際に設置した仮設用の進入道路については、工事が終われば全て撤去し元通りにすることとしています。</li> </ul>

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ 誹謗中傷するような発言については掲載しておりません。